

みえメディカルバレー構想 実施計画の推移と

第4期実施計画（案）のめざす姿

基本理念

地域資源を有効に活用し、競争力のある医療・健康・福祉産業の振興に取り組み、活力ある地域づくりと県民の健康と福祉の向上をめざします。

第4期実施計画
（平成28年度～31年度）
開花期

第3期実施計画
（平成24年度～27年度）
成長期

第2期実施計画
（平成20年度～22年度）
基盤整備期

第1期実施計画
（平成14年度～19年度）
立ち上げ期

【めざす姿】

「みえヘルスケアインダストリー4.0」

高齢化に伴う多様な健康需要に対して、本県が持つ高度なものづくり技術や人材など地域が保有する豊富な資源、産学官民金連携の支援基盤の強みを発揮し、ライフイノベーションを推進することにより、ヘルスケア分野の優れた製品・サービスが創出され、県民の豊かさには貢献しています。

【基本方向】

- 1 ヘルスケア産業の連携基盤の充実・強化
- 2 医薬品・化粧品・医療機器・食品等産業の競争力強化
- 3 新たな健康需要に対応するヘルスケア産業（次世代ヘルスケア産業）の創出

総合特区の後継事業の展開（H29年度～）

【めざす姿】

県内各地域で医療・健康・福祉分野の先進的な取組が行われ、産業が活性化しています。

医療・健康・福祉分野の産学官民連携の基盤を活用し、本分野で活用される製品やサービスが次々に生み出されています。

みえメディカルバレープロジェクトで生み出された製品やサービスを県民が享受し、健康な生活を送り、福祉の充実につなげています。

【基本方向】

- 1 産学官民連携の充実
- 2 技術力・地域力の充実
- 3 みえライフイノベーションの推進
- 4 情報発信・収集の充実

総合特区
（H24.7指定～H28年度）

【めざす姿】

産学官民が連携しながら、それぞれが自立的な取組を展開するパートナーシップを維持し、そこから次々にイノベーションが生み出され、医療・健康・福祉産業が活性化されています。

【基本方向】

- 1 産学官民連携によるネットワークの充実・拡大
- 2 メディカル分野の人材の確保・育成
- 3 統合医療・予防医学を推進するための体制づくり
- 4 技術力向上・製品開発の支援
- 5 推進体制の充実

【基本方向】

- 1 産学官民連携の促進
- 2 研究開発・技術開発の促進
- 3 創業・新事業創出の支援
- 4 企業誘致戦略の推進
- 5 医療・健康・福祉サービス分野の高度化と効率化
- 6 情報提供の充実
- 7 推進体制の整備
- 8 人材の確保・育成

第1期で培った人的ネットワーク等を基に基盤整備の確立を図り「メディカルバレー構想」実現に向けた礎を築く。

第2期で築いた基盤を活用し、様々な製品やサービスを創出する技術力・地域力等の充実と特区を活用したライフイノベーションの推進を図る。

第3期で注力したライフイノベーションの推進により構築した製品・サービスの開発基盤を基に、成長産業であるヘルスケア産業に対して、攻めの取組を行ってために、ターゲットを絞り、具体的、戦略的な取組を進める。

第4期でめざす姿

高齢化に伴う多様な健康需要に対して、本県が持つ高度なものづくり技術や人材など地域が保有する豊富な資源、産学官民金連携の支援基盤の強みを発揮し、ライフイノベーションを推進することにより、ヘルスケア分野の優れた製品・サービスが創出され、県民の豊かさには貢献しています。

1 ヘルスケア産業の連携基盤の充実・強化

県内医療・福祉機関等が参画した実証フィールド体制の構築
医療・福祉現場等ニーズ収集の取組促進
MieLIP等の取組促進
国内・海外連携のさらなる拡充
産学官民金の交流や連携による企業育成
産学官民金による取組評価
ヘルスケア産業の支援人材の発掘・育成

2 医薬品・化粧品・医療機器・食品等産業の競争力強化

医薬品・化粧品・医療機器・食品メーカー等の成長段階に応じた企業支援
戦略的企業連携・誘致の促進
革新的な医薬品、戦略的医療機器及び高付加価値な機能性食品等の創出
競争力強化に必要な人材の発掘・育成

3 新たな健康需要に対応するヘルスケア産業（次世代ヘルスケア産業）の創出

次世代ヘルスケア産業の創出
国内産業用植物供給の促進
科学的根拠に基づいた健康住宅の開発促進
次世代ヘルスケア産業創出に必要な人材の発掘・育成

より具体的を示した基本方向を策定

第3期における成果

- MieLIP設置を契機とした県内各地での製品・サービスの開発促進
- 国内外企業、自治体と連携した取組の展開
- 医療情報DBの構築、参加医療機関の拡大
- 医療・健康・福祉分野の製品・サービス開発取組実績数（累計）：48件（H24～H27）
- 治験受入件数：129件（H24～H26）
- 企業立地・第2創業数：32件（H24～H26）

ライフイノベーションの推進による製品・サービスの開発基盤が確立

第3期における課題

課題1 ヘルスケア産業を支える基盤体制の強化が必要

県内の企業、大学、MieLIP等の連携体制が企業のニーズや市場性に応じて総合的な支援が実施できる体制・人材を強化することが必要

課題2 医薬品、医療機器等の競争力強化が必要

ヘルスケア産業の主力である医薬品、医療機器等について、高付加価値な製品開発や販路拡大等の競争力強化が必要

課題3 新たな健康需要に対応した製品・サービスの創出が必要

新たな健康需要に対して、地域資源、ICT技術等を活用し、三重県発の新たな製品・サービスを創出することが必要